

平成29年度の本協会活動スタート

理事会・評議員会開催 29年度事業計画等承認 本坊修会長3期目 第75回国体に向け本格始動

平成29年3月20日に28年度第2回理事会、4月29日に29年度第1回理事会を、5月7日に定時評議員会と相次いで開催し、28年度の事業報告や決算・監査報告をはじめ、29年度事業計画、予算等について御承認をいただきました。また、今年度は役員改選の年にあたり、理事等推薦委員と臨時評議員会も開催しました。特に、評議員は4年の任期が満了となり、大幅な入れ替えになりました。さらには理事・副会長にセイヤ食品株式会社代表取締役社長と川浩一郎氏と前評議員の福満隆氏が新たに就任しました。第75回国体体育大会鹿児島大会まで残り3年余りになりました。4月29日には鹿児島ゴールデンアスリート(KGA)育成事業練習会を行い、ジュニア育成・強化に向けた本格的なスタートを切りました。競技役員は育成・確保については、これまでも順次取り組んでまいりましたが、いよいよ審判技術の向上に力を注ぐ取組を円滑な競技運営に御尽力くださいますようお願いいたします。

29・30年度の評議員及び理事・役員等は下記のとおりです。引き続き皆さんの御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

【評議員】

宇田 千 啓	山 下	口 野	安 悦	任 郎	日 高	次 則
飯毛 野 信	一					

【理事・役員】

会 長	本坊 修	副 会 長	高玉 山	理 事 長	長 崎 博	副 理 事 長	長 崎 博	総 務 部 長	長 崎 博	監 事	長 崎 博
副 会 長	高玉 山	理 事 長	長 崎 博	副 理 事 長	長 崎 博	総 務 部 長	長 崎 博	監 事	長 崎 博		
副 会 長	高玉 山	理 事 長	長 崎 博	副 理 事 長	長 崎 博	総 務 部 長	長 崎 博	監 事	長 崎 博		
副 会 長	高玉 山	理 事 長	長 崎 博	副 理 事 長	長 崎 博	総 務 部 長	長 崎 博	監 事	長 崎 博		
副 会 長	高玉 山	理 事 長	長 崎 博	副 理 事 長	長 崎 博	総 務 部 長	長 崎 博	監 事	長 崎 博		

【事務局】

局長	末 顧	事務局長	末 顧	事務局長	末 顧
事務局長	末 顧	事務局長	末 顧	事務局長	末 顧

【名誉会】

名誉会長	川 丸	名誉会長	川 丸	名誉会長	川 丸
名誉会長	川 丸	名誉会長	川 丸	名誉会長	川 丸

【事務局長】

事務局長	末 顧	事務局長	末 顧	事務局長	末 顧
事務局長	末 顧	事務局長	末 顧	事務局長	末 顧

【名誉会】

名誉会長	川 丸	名誉会長	川 丸	名誉会長	川 丸
名誉会長	川 丸	名誉会長	川 丸	名誉会長	川 丸

【事務局長】

事務局長	末 顧	事務局長	末 顧	事務局長	末 顧
事務局長	末 顧	事務局長	末 顧	事務局長	末 顧

第75回国体鹿児島大会まで後3年

陸上競技場改修工事着工 メイン競技場の使用は9月まで

工事終了は31年2月末 来年度の競技会は補助競技場で
平成29年度の競技会が始まって3か月経ちました。メインスタンド前にプレハブが設置され、不便・不自由な競技運営を強いられ続けていますが、競技役員や補助員の御理解御尽力によりおかげで滞りなく実施することができ、たいへんありがとうございます。今年度の競技会は、9月中旬までメインの競技場で実施し、10月以降及び30年度の各競技会については、すべて補助競技場で行うことになっていきます。所要の準備をしていますが、それ限度があり、競技運営にあらたなる皆さんの御理解御協力をよろしくお願いいたします。

功労章や各賞決定 おめでとうございます

平成28年度の本協会の功労章や公益財団法人日本陸上競技連盟の栄章受章者が決まりました。各位のこれまでの御尽力や御活躍に敬意を表しますとともに、受章を心からお祝い申し上げます。

各章の受章者は次のとおりです。なお、所属や学年等は平成28年度時のものです。また、敬称は略します。表彰式は、第72回県陸上競技選手権大会第2日目、7月2日(日)の正午過ぎを予定しています。ただし、日本陸上競技連盟栄章関係の秩父宮章や高校優秀指導者賞、中学優秀指導者賞の授与は、10月の第72回国体愛媛大会において、また、安藤百福記念章は8月に横浜で行われる全国小学生陸上競技交流大会で授与されます。

【鹿児島陸上競技協会】

- ☆ 功労章

石谷 政喜(鹿児島)	酒井 養一(始良)
神前 文則(肝属)	今村 隆夫(鹿児島)
大浦 満弘(始良)	福永 一則(鹿児島)
- ☆ 最優秀選手賞

末永 成美(大阪成蹊大学4年)

- ☆ 優秀選手賞

若切 亨生(国分中央高等学校3年)

- ☆ 優秀新人賞

原田 まりん(田崎中学校2年)

- ☆ 県記録樹立賞

末永 成美(大阪成蹊大学4年) 走幅跳 6m24
カマウ タビタ ジュリ(神村学園高校1年) (国際)3000m 8'58"35
藤本 彩夏(京セラ) マラソン 2' 27'08
鹿児島南高校(児玉・松元・藤崎・福永) 4×400mR 3'13"12
- ☆ 特別賞

上原 美幸(第一生命)

【日本陸上競技連盟】

- ☆ 秩父宮章

田中 孝見(鹿児島陸上競技協会参与)

- ☆ 高校優秀指導者賞

中江 寿孝(鹿児島高等学校教諭)

- ☆ 中学校優秀指導者賞

上岡 洋輔(鹿児島市立南中学校教諭)

- ☆ 安藤百福記念章

高山 克司(前普及部長、鹿児島女子高等学校教諭)

- ☆ 高校優秀選手賞

竹之内 優汰(鹿児島南高等学校3年)

- ☆ 中学優秀選手賞

長野 斗哉(帖佐中学校3年)

鹿児島マラソン2018 来年3月4日開催決定!

第3回となる鹿児島マラソン2018は平成30年3月4日開催が決定しました。コースは前回と同じく、フルマラソンはドルフィンボート前をスタートし、鴨池陸上競技場前を通り、騎射場電停から高見馬場、天文館を通過し、西郷銅像前から国道10号線を北上、始良市重富で折り返し、鹿児島市役所前にフィニッシュする42.195kmで競います。

募集は9月1日から始まり、定員はマラソンがこれまで通り10,000人、8.9kmのファンランは昨年より500人増え2,500人となります。

また、鹿児島市マラソン実行委員会は、第1回鹿児島マラソンがインターネットのランニングサイトが選ぶ「全国ランニング大会100選」に入ったことを報告されました。

第2回となった大会はスタート直後から雨模様となり、次第に気温も下がり、厳しいコンディションの下でレースが繰り広げられましたが、89.9%の完走率に達しました。

今後、競技役員への依頼をいたしますが、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

マラソンチャレンジカップ(MCC)の対象大会認定

鹿児島マラソン2018は、月刊誌『ランナーズ』発行の関連会社アールビーズスポーツ財団が今年度から制定したプロジェクトの全国29大会の一つに認定されました。記録ごとに賞金が設定され、鹿児島マラソンの男子で最高記録を達成すると、50万円に相当するそうです。

本県からは鹿児島マラソン以外に、10月22日(日)開催の出水ツルマラソン、来年3月開催予定のヨロンマラソンもこのプロジェクトの参加対象となっています。

全国大会目指す戦い 若者の活躍に期待

2017インターハイ県予選大会

麻生幹雄(鹿児島南高) 棒高跳で県高校タイ・大会記録更新
本年度の競技会は4・5月の3回の記録会を経て、5月31日から4日間にわたって行われた県高校総合体育大会第70回県高等学校陸上競技大会を嚆矢として若者たちの全国への挑戦が始まりました。

大会は4日間とも昨年以上の好天に恵まれ、熊本で行われる南九州大会への出場権をかけて、力強い戦いが繰り上げられました。

男子棒高跳で、鹿児島南高校の麻生幹雄が自身が4月に熊本県の記録会で出した4m90の跳躍で、県高校タイ及び大会新記録をマークして勝利しました。また、女子の棒高跳でも鹿児島高校の吉永真歩が2m80の県高校新記録で優勝。2位の鹿屋高校の山口華怜、3位の鹿児島高校の森本聖羅は2m70の県高校タイを記録しました。

総合優勝 男子 鹿児島南高校 女子 鹿児島女子高校

男女総合の結果は下記のとおりです。

【男子】

- 1位 鹿児島南高 116点
- 2位 鹿児島高 60点
- 3位 甲南高 24点

【女子】

- 1位 鹿児島女子高 96点
- 2位 鹿児島高 75点
- 3位 鹿児島南高 44点

南九州地区予選大会 熊本で開催

4×100mR 川薩清修館・鹿児島南・鹿児島・甲南全国へ

南九州地区各県の予選を突破し、全国大会への出場権をかけた南九州地区高校陸上競技大会は、6月15日(木)から4日間にわたり熊本県民総合運動公園陸上競技場で行われました。

本県から全国大会へのキップを手にした選手は、男子が八種競技を含む16種目22人、延べ24人で、リレー2種目5チーム、女子は七種競技を含め16種目21人、延べ23人で、リレーは二種目で1チームずつの結果となりました。

上位3位に入賞した種目や選手の氏名、記録等は次のとおりです。

【男子】

200m	竹之下 卓也 (甲南高)	21"94 (2位)
400m	橋元 優成 (川薩清修館高)	47"87 (1位)
800m	福島 碧海 (鹿児島工業高)	1'57"78(3位)
400mH	馬場園 知哉 (鹿児島南高)	53"82 (3位)
3000mSC	國本 尚希 (出水中央高)	9'16"45(1位)
4×100mR	川薩清修館高	41"55 (2位)
	鹿児島南高	41"66 (3位)
走高跳	久保木 春佑 (鹿児島高)	1m96(3位)
棒高跳	麻生 幹雄 (鹿児島南高)	4m80(1位)
走幅跳	石原 龍聖 (鹿児島南高)	7m18(2位)
三段跳	若崎 孝聖 (鹿児島南高)	15m03(1位)
ハンマー投	杉山 優馬 (鹿児島南高)	52m12(1位)
八種競技	佐田 征義 (鹿児島南高)	5181点(2位)
	市 来 拓 (松陽高)	4922点(3位)

【女子】

800m	久田 ちひろ (神村学園高)	2'16"13(2位)
	松元 遥香 (鹿児島高)	2'16"71(3位)
1500m	カマウタビタ (神村学園高)	4'21"06(1位)
	平田 歩弓 (神村学園高)	4'25"07(2位)
3000m	カマウタビタ (神村学園高)	9'00"70(1位)
	平田 歩弓 (神村学園高)	9'22"83(3位)
400mH	淵田 杏奈 (鹿児島女子高)	1'02"05(3位)
4×400mR	鹿児島女子高	3'52"48(3位)
走高跳	萩原 莉子 (鹿児島南高)	1m64(2位)
三段跳	松澤 咲彩 (鹿児島高)	11m66(3位)
砲丸投	松井 沙紀 (鹿児島女子高)	11m88(3位)
円盤投	谷口 詩音 (大口明光高)	37m39(3位)
やり投	山元 祐季 (鹿児島女子高)	46m51(1位)
七種競技	松元 佳子 (川内高)	4011点(2位)

全国大会 7月28日(土)～8月2日(水)

山形県天童市のNDソフトスタジアムで開催

今年度の全国高等学校総合体育大会陸上競技大会は、7月29日(土)から8月2日(水)までの5日間にわたって、山形県天童市のNDソフトスタジアムで開催されます。全国のひのき舞台での本県の代表選手の皆さんの活躍、健闘を期待し、朗報を待っています。

鹿児島から熱い応援を送ります。頑張れ！

第34回南日本小・中学校陸上競技大会

大会新記録13 能勢未夏海(帖佐中)2種目県中学新

第34回南日本小・中学校陸上競技大会中学生の部は、5月27日・28日の2日間にわたって県立鴨池陸上競技場で宮崎県からの参加を交え、盛大に行われました。

帖佐中学校の能勢未夏海が男子共通円盤投で32m50、ジャベリックスローで63m74を投げて2種目で県中学新記録を樹立しました。また、男子共通4×100mRにおいて出水中学校が44秒51の大会新記録をマークするなど、予選を含め13の大会新記録が生まれ、嬉しい大会となりました。

大会新記録の出た種目や記録等は下記のとおりです。ただし、決勝1位のみとし、能勢未夏海の記録は省略します。

【男子】

共通400m	51"01	岩永 俊介(宮崎・宮大付属中)
1年1500m	4'31"31	吉村 淑秀(国分中)
共通4×400mR	44"51	出水中(瀬崎・茨木・渡邊・平藪)
1年走幅跳	5m63	川上 亮磨(高尾野中)
共通砲丸投	12m87	有村 慎太郎(重富中)

【女子】

共通1500m	4'36"87	原田 まりん(田崎中)
共通100mH	14"57	中村 真実(宮崎・大淀中)
共通走幅跳	5m74	竹元 咲(高尾野中)

優秀選手賞は下記の選手が受賞しました。

【男子】

1年	川上 亮磨(高尾野中)	花田 真奈夏(国分南中)
2年	立岡 駿(東谷山中)	足立 桐華(大宮中)
3年	能勢 未夏海(帖佐中)	竹元 咲(高尾野中)

【女子】

4年	今村 剛旗(始良陸上)	吉屋優希乃(国分ジュニア)
5年	山下 智輝(鹿児島Jr陸上)	黒瀬 笑(田布施SC)
6年	中窪 日向(高山Jr陸上)	橋元 幸笑(阿久根陸上ク)

また、小学生の部は、6月18日に県立鴨池陸上競技場で行われ、ジャベリックボール投をはじめ5つの小学学年新記録、大会新記録が1つ出ました。

優秀選手賞には下記の選手が選ばれました。

【男子】

4年	今村 剛旗(始良陸上)	吉屋優希乃(国分ジュニア)
5年	山下 智輝(鹿児島Jr陸上)	黒瀬 笑(田布施SC)
6年	中窪 日向(高山Jr陸上)	橋元 幸笑(阿久根陸上ク)

【女子】

4年	今村 剛旗(始良陸上)	吉屋優希乃(国分ジュニア)
5年	山下 智輝(鹿児島Jr陸上)	黒瀬 笑(田布施SC)
6年	中窪 日向(高山Jr陸上)	橋元 幸笑(阿久根陸上ク)

全日本中学校通信陸上競技大会県予選会

有村(重富) 竹元(高尾野) 原田(田崎) 全国大会標準記録突破

第64回全日本中学校通信陸上競技大会県予選会は、6月24日・25日の2日間にわたり、薩摩川内市総合運動公園陸上競技場で行われました。

1日目は昼過ぎから次第に雨が強くなり、良いコンディションではありませんでしたが、タイムテーブルどおりに運営、選手も天候に負けず、健闘していました。

下記の選手たち3人が4種目において、8月19日から熊本で開催される全日本中学校陸上競技選手権大会の参加標準記録を突破し、全国大会出場権を獲得しました。

また、7月22日・23日に開催される県中学校総合体育大会陸上競技大会も全国大会標準記録突破の対象競技会になっています。多くの選手の出場権獲得を期待しています。

男子共通砲丸投	13m60	有村 慎太郎(重富中)
女子共通1500m	4'35"47	原田 まりん(田崎中)
女子共通100m	14"80	竹元 咲(高尾野中)
女子共通走幅跳	5m50	竹元 咲(高尾野中)

編集後記

将棋の世界で中学生棋士藤井聡太四段がプロとして戦い始めてから負けなしの、29連勝という快挙を成し遂げて、全国的な話題となり、社会現象を呼び起こしています。まさに天才現るとい感じず。

スポーツの世界でも中学生や若者の活躍が報じられ、これからの成長が楽しみです。先般平塚市のShonan BMW スタジアムで行われた大学個人陸上競技選手権大会男子100mにおいて、それまであまり知られていなかった関西学院大学の多田修平選手が予選で追い風参考ながら日本国内初の9秒台、9秒94を出し、決勝では10秒08で選手権者となりました。日本選手権でも2位に入り、8月にロンドンで開催される世界選手権の日本代表に選ばれました。

このように若者が一気に頭角を現すことは、まだまだ可能性を秘めた、潜在能力を持った選手がいることを物語るものであり、期待度が高まります。

県内の競技会においても、各世代の活躍で中学・高校新記録や小学生の学年新記録が出て、次期団体に向けてとても嬉しく頼もしく感じています。

末筆になりましたが、永年により本協会の競技力の向上や選手の育成・強化に尽力していただきました瀬戸口良一先生が6月16日に病により亡くなりました。御功績を称え、心から御冥福をお祈り申し上げます。